

第9回光科学異分野横断萌芽研究会 プログラム

日時：令和元年 8月6日(火)～8日(木)

開催地：京都 三木半旅館（京都市中京区六角通麩屋町東入八百屋町96）

主催：大阪大学 先導的学際研究機構、東京大学 光量子科学連携研究機構

共催：光・量子飛躍フラッグシッププログラム（Q-LEAP） 先端レーザーイノベーション拠点

後援：大阪府立大学 LAC-SYS 研究所

8月6日(火)

- 13:50 開会 趣旨説明（佐藤 琢哉）
経緯と各機構のご紹介（永井 正也・田丸 博晴）
事務連絡（成川 礼・藤原 秀紀）

座長：長島 優

- 14:10 **チ1** チュートリアル講演
豊島 有（東京大学 理学系研究科）
「線虫全脳の機能的イメージングと動態解析」
- 15:10 **講1** 飯田 琢也（大阪府立大学 理学系研究科 / LAC-SYS 研究所）
「光誘導加速システムによる革新的バイオ分析技術の開発」
- 15:40 休憩(20分)

座長：佐藤 琢哉

- 16:00 **特** 特別講演
兒玉 了祐（大阪大学 レーザー科学研究所 / 工学研究科）
「知的多様性を活かすための光科学連携」
- 17:00 **講2** 五十嵐 龍治（量子科学技術研究開発機構 量子生命科学）
「生命科学研究のためのナノ量子センサー」
- 17:30 参加者による研究分野の紹介
- 18:30 夕食
- 21:00 討論会① 「若手研究者にとって異分野研究とは？」（～23:00）

8月7日(水)

座長：澤田 桂

- 9:00 **チ2** チュートリアル講演
玉山 泰宏（長岡技術科学大学 工学研究科）
「メタマテリアルによる電磁場増強とマイクロプラズマの生成」
- 10:00 **講3** 成川 礼（静岡大学 理学部）
「光受容体・シアノバクテリオクロムの人工的改変による色調節」
- 10:30 休憩(20分)

座長：藤原 秀紀

- 10:50 **チ3** チュートリアル講演
磯部 圭佑（理化学研究所 光量子工学研究センター）
「光の時空間分布を制御したイメージング技術」
- 11:50 **講4** 澤田 桂（理化学研究所 放射光科学研究センター）
「複異方性媒質の分散曲面の構造と光学現象」
- 12:20 昼食

座長：小西 邦昭

- 13:30 **チ4** チュートリアル講演
石綿 整（東京工業大学 工学院）
「NV センタの生体応用について」
- 14:30 **講5** 平松 光太郎（東京大学 理学系研究科）
「高速ラマン分光フローサイトメトリー」
- 15:00 休憩(20分)

座長：平松 光太郎

- 15:20 **チ5** チュートリアル講演
奥野 将成（東京大学 総合文化研究科）
「二次非線形光学過程に基づく界面とキラリティーの分子分光」
- 16:20 **講6** 岡本 晃一（大阪府立大学 工学研究科）
「プラズモニクスを用いた高効率発光素子応用の新展開」
- 16:50 **講7** 藤原 秀紀（大阪大学 基礎工学研究科）
「高精度 X 線電子分光によるハーフメタルホイスラー合金の電子構造研究」
- 17:20 参加者による研究分野の紹介
- 17:30 フリーディスカッション
- 18:30 夕食
- 21:00 討論会② 「光科学分野の新学術領域構築と大型プロジェクトへの展望とは」(～23:00)

8月8日(木)

座長：成川 礼

- 9:30 **チ6** チュートリアル講演
青木 一洋（自然科学研究機構・生命創成探究センター/基礎生物学研究所/）
「生細胞イメージングによる細胞内シグナル伝達系の可視化と光操作」
- 10:30 **講8** 佐藤 琢哉（東京工業大学 理学院）
「マルチフェロイック物質の超高速分光」
- 11:00 休憩(20分)
- 11:20 **講9** 鹿野 豊（慶應義塾大学）
「我々は何が見えて、何を見て、何を見たいのか？」
- 11:50 閉会の挨拶（次回代表）

「参加者による研究分野の紹介」の順番

順番	氏名（敬称略）	所属
1	田村 守	大阪府立大学 理学系研究科
2	小西 邦昭	東京大学 理学系研究科
3	長島 優	東京大学 医学部附属病院
4	永井 正也	大阪大学 基礎工学研究科
5	馬越 貴之	大阪大学 工学研究科
6	押味 佳裕	大阪市立大学 理学研究科
7	林 康太	大阪府立大学 理学系研究科
8	田丸 博晴	東京大学 理学系研究科
9	奥 友洋	大阪府立大学 理学系研究科
10	高橋 和	大阪府立大学 工学研究科
11	宮島 顕祐	東京理科大学 理学部

※上記は一般聴講者のみですが、チュートリアル講演者、一般講演者の皆様も簡単な自己紹介をお願いします（別途ご講演を頂く方はフリーハンドで結構です。）

※2日目の自己紹介は途中からの参加者のため、名前と所属だけを順番に紹介する簡単な形を検討しています。